

香港の良好なビジネス環境

一国二制度のもと、香港は中国本土と異なる独自のビジネスに優しい環境を維持します。

世界有数の自由な経済

- 自由貿易
- 自由な市場
- 外国資本規制なし
- 自由な情報と資本の流れ

法令遵守・契約重視

- 契約および知的財産の法的保護
- アジアの主要な仲裁地。公平性・専門性で国際的に評価が高い。150ヶ国以上で執行可能
- 強力な法曹界。約8,500人の香港弁護士と約1,300人の外国法弁護士が活躍

低率でシンプルな税制度

- 事業所得税 二段階課税
課税所得 200万香港ドルまで 8.25%
課税所得 200万香港ドル超 16.5%
- 欠損金の繰越控除は無期限
- 個人所得税 最高15%
- フリーポート。原則関税なし
- 付加価値税、消費税なし
- 配当金、利子源泉課税なし
- 相続税なし
- 香港源泉の所得のみ課税対象
- 優遇税制の適用: 8.25%
コーポレートレジャーセンター
航空機リース
船舶リース
- 研究開発費の税額控除
200万香港ドルまで 300%
200万香港ドル超 200%

優秀な人材

- 公用語の英語と中国語の両言語を話す
- 教育水準が高く、国際ビジネス慣習や中国本土の文化および体制に関する豊富な知識及び経験を持つ
- 「優秀人材入境計画」を策定し、優秀な人材を世界中から誘致

イノベーション&テクノロジーの推進

- 世界トップ50校及びアジアトップ10校に3校がランクインする世界トップクラスの大学 (2019年 英国QS社)
- 香港サイエンスパークとサイバーポートなどのテクノロジーインフラが揃う
- 香港・深圳イノベーション&テクノロジーパークの開発
- ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、英インペリアルカレッジなど海外有名大学との共同研究や共同プロジェクトの実施
- 研究開発に対する手厚い政府補助金制度
- 技術者の入境手続の簡便化
- 研究開発費の税額控除

アジアの中心 — 戦略的立地

- アジアの主要市場まで4時間以内のフライトで到達
- 世界人口の半分を5時間以内のフライトで網羅

国際金融センター

- 米ドルに対して安定したレートで自由に兌換できる香港ドル
- 時価総額で世界第5位、アジア第3位の株式市場
- 2019年新規上場(IPO)による資金調達額、372億米ドルで世界第1位
- 世界最大のオフショア人民元センター
- アジア有数のアセットマネジメントハブ、2018年末総資産高は約3.1兆USドル
- 世界の大手銀行100行の内、約8割が香港で事業を展開
- 即時グロス決済システム(香港ドル、米ドル、ユーロ、人民元)を銀行間送金に導入

アジアの物流拠点

- 国際貨物取扱量世界一の空港
- 120社以上の航空会社のフライトが香港国際空港と世界220の空港間を就航
- 世界有数の取扱量を誇るコンテナ港
- 420以上の港に向けて1週間に約300隻の船舶が運航する国際海運の拠点

中国へのゲートウェイ

- 2018年末時点で中国本土への直接投資総額は960億米ドル、全体の71%
- 中国本土・香港経済貿易緊密化協定による香港会社に対する中国本土市場参入への優遇
- 上海・香港ストックコネクト、深圳・香港ストックコネクト、ボンドコネクト、ウェルスマネジメントコネクトにより中国本土と香港相互間の投資が可能

広東・香港・マカオ大湾区

- 香港、マカオと広東省の9都市(広州市、深圳市、珠海市、佛山市、惠州市、東莞市、中山市、江門市と肇慶市)
- 面積: 56,000 km²
- 人口: 7,110万人 (中国人口の5%)
- GDP: 1.6兆米ドル (中国GDPの12%)
- 香港-広州間約50分、香港-珠海間約45分で移動可能
- 7つの開発分野: ①国際的なイノベーション&テクノロジーハブ ②インフラの接続性 ③世界的競争力のある近代的産業システム ④環境保護 ⑤高品質な生活・仕事・移動の環境 ⑥一帯一路構想を強力に支持するため世界クラスのビジネスと投資の環境を開発 ⑦広東・香港・マカオの協力プラットフォームを共同開発
- 香港がリーダーとなり推進することが期待されている
- 香港は広東・香港・マカオ大湾区の国際金融、国際ビジネスそして国際イノベーション&テクノロジーハブとして更なる発展を目指す